

令和4年度

募

集

中

## J A 研究奨励

JA全中では、JAに関する研究を振興・奨励するため、下記の課題について研究しようとする方に対して、研究費の一部を助成します。ふるってご応募下さい。

### 特別研究課題

- ① 現代社会における農業協同組合(JA)の存在意義と役割について  
【解題】

JAグループは人口減少、高齢化、担い手不足、世界中に広がるコロナ禍等のさらなる環境変化に直面している。さらには、デジタル化、地球温暖化、自然災害の頻発・激甚化、SDGsをはじめとした持続可能な社会実現への潮流など、まさに時代の転換期にあるといえる。

このような時代においても、組合員の多様化・深化するニーズにこたえるため、農業と地域を支える多様な組織・団体・企業等との協働・共助のもとで、様々な情報技術を活用して新時代を切り拓くことが求められている。

改めて、国民に対し「農業協同組合(JA)の存在意義」の理解を求めていくことが重要である。こうした中で、准組合員、地域住民を含めた地域社会においてJAが果たすべき役割について、提言いただきたい。

- ② 「農業者の所得増大と地域の活性化」を図るJAの戦略的行動について  
【解題】

第29回JA全国大会では「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」を主題とし、副題には農業・地域・JAが劇的に変化する新時代に対応し発展していくため「不断の自己改革によるさらなる進化」を挙げている。今後も農業者の所得増大、農業生産の拡大へのさらなる挑戦とともに地方経済・社会・コミュニティの維持・発展に取り組む必要があるが、こうした戦略的な取り組みについて提言いただきたい。

### 一般研究課題

- ① 農業協同組合または協同組合に関するもの
- ② 協同組合教育の振興に関するもの
- ③ JA全国大会に関するもの

応募の締切

令和4年

7月22日(金)

	特別研究	一般研究
●応募資格	将来とも日本においてJAに関する研究を続ける見込みがある方であれば年齢にかかわらずどなたでも応募できます。 また、グループでの応募においてはJA職員(JA関係研究機関職員を含む)として勤務するまたは勤務した者を1名加えることを推奨します。	令和4年5月末日現在45歳未満の方で、将来とも日本においてJAに関する研究を続ける見込みがある方。ただし、大学の教授およびこれと同等の職位にある方は除きます。なお、JA職員の方は年齢は問いません。 また、平成29年度以降助成を受けた方は対象になりません。
	特別研究と一般研究を重複して応募することはできません。	
●研究助成額	審査の上、1件につき100万円以内の範囲で助成します。	審査の上、1件につき50万円以内の範囲で助成します。

- 選考の方法…本会に設置した委員会において厳正に選考します。
- 選考結果の通知…日本協同組合連携機構から応募者あて個別に通知します。
- 研究成果の公表…『協同組合奨励研究報告』(家の光出版総合サービス発行予定)に掲載します。

詳しくは『JA研究募集案内』をご覧ください。

●お申込みは/(一社)日本協同組合連携機構 協同組合連携部 〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階  
☎ 03(6280)7254 FAX 03(3268)8761 HP <http://www.japan.coop/> E-Mail [kyodo@japan.coop](mailto:kyodo@japan.coop)

J A 全中